

桜島の火山活動と火山災害

—太古から現在まで—

鹿児島県は多くの火山を有する県である。中でも今年に入り大爆発し、鹿児島・宮崎両県で被害を出した新燃岳。年間 900 回近く昨年爆発し、各地に火山灰を降らせる桜島など、素晴らしい景観とは裏腹に県民生活に影響を与える不安材料でもある。我々はこれらの活発な火山とどのように向き合い、つきあっていけばいいのだろうか。県内の火山の今後は？ 県民の心構えは？今回は、過去の災害を踏まえ、30年間“噴火予知”をテーマに研究してこられた井口先生をお招きして、火山防災に対する処方箋をいただきたい。

▶日時：2011年11月19日(土)

午後5時～午後6時45分

▶会場：パレスイン鹿児島

鹿児島市樋之口町8-2 電話099-223-1111

▶講師：京都大学 防災研究所

火山活動研究センター

准教授 井口 正人 先生



●ご略歴

井口 正人 (いぐち まさと) 先生 岡山県出身、53歳

昭和56年 京都大学防災研究所助手

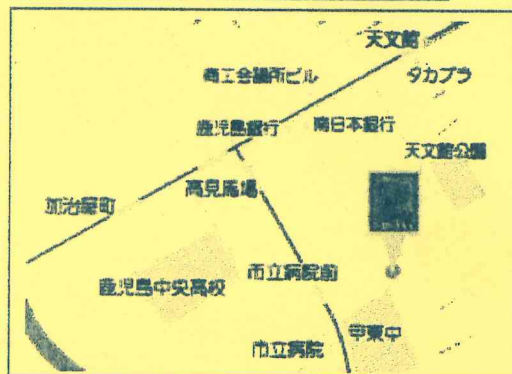
平成7年 同助教授

火山噴火予知連絡会委員、日本火山学会理事

科学技術・学術審議会測地学分科会地震火山部会専門委員

専門：火山物理学、火山噴火予知計測

桜島をはじめとする南九州の活火山の火山噴火予知と噴火機構に関する研究を火山性地震や地盤変動観測により行っている。18年前からインドネシアの火山における研究も実施している。



※ 必ず事前にお電話等でお申し込み下さい。FAX・メールでのお申し込みはお名前・連絡先の記入をお願いします。

主催：鹿児島県保険医協会

県内の医師・歯科医師約1,330名の団体です。

電話 099-254-8662 FAX099-254-8667 メール kahokyou@yahoo.co.jp